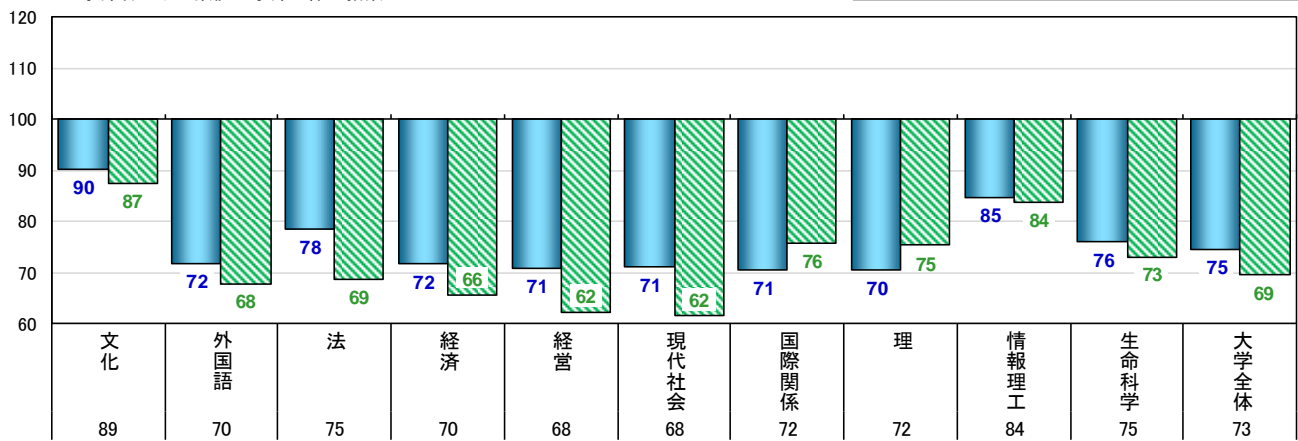


2021 年度入試状況分析【私立大】

京都産業大：大学全体では6年ぶり減少 9学部で大幅減少 一般：-9,232人 共通：-6,063人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■ 一般方式 ■ 共通利用方式



入試変更点 選抜方法：外国語<一般・英語1科目型>…実施→廃止

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、15,295人(73)の大幅減少で6年ぶりの減少。志願者数は、2018年度から続く5万人台を大きく下回る結果となった。学部別では、文化(89)が減少、他の9学部は経営(68)、現代社会(68)、外国語(70)、経済(70)、国際関係(72)、理(72)、法(75)、生命科学(75)、情報理工(84)といずれも大幅減少。方式別では、一般方式は9,232人(75)、共通テスト利用方式は6,063人(69)のいずれも大幅減少。

<一般方式>

- 文化(90)は、減少。学科別では、(京都文化)(121)が大幅増加、(国際文化)(72)が大幅減少と対照的。
- 外国語(72)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、ヨーロッパ言語(53)が半減に近い減少、英語(80)が大幅減少、アジア言語(88)が減少。
- 法(78)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(法政策)(66)が大幅減少、(法律)(86)が減少と、いずれも減少。
- 経済(72)は、大幅減少。方式別では、<中期>(63)は2年連続増加の反動で大幅減少、<後期>(74)は大幅減少、<前期>(74)は大幅減少で、2年連続減少。
- 経営(71)は、大幅減少で6年ぶりの減少。方式別では、<前期>(72)、<中期>(72)、<後期>(59)の全てが大幅減少。
- 現代社会(71)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(現代社会)(68)、(健康スポーツ科学)(76)といずれも大幅減少。
- 国際関係(71)は、大幅減少で2019年度新設から2年連続減少。
- 理(70)は、大幅減少で前年度3年ぶりの増加から再び減少。学科別では、(数理科学)(62)、(物理科学)(66)、(宇宙物理・気象)(80)の全てが大幅減少。
- 情報理工(85)は、大幅減少、2019年度の学部改組後は前年度の反動による増減が継続。方式別では、<後期>(58)は2年連続大幅減少、<中期>(73)は大幅減少、<前期>(90)が減少。
- 生命科学(76)は、大幅減少で2019年度の学部改組後は2年連続減少。学科別では、(産業生命科学)(66)、(先端生命科学)(80)といずれも大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文化(87)は、減少。学科別では、(国際文化)(77)が大幅減少。
- 外国語(68)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(ヨーロッパ言語)(56)、(英語)(73)、アジア言語(78)の全てが大幅減少。
- 法(69)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(法政策)(51)が前年度大幅増加の反動で半減に近い大幅減少、(法律)(80)は、2年連続大幅減少。
- 経済(66)は、3年連続増加の反動から大幅減少。方式別では、全ての方式で大幅減少。
- 経営(62)は、大幅減少で6年ぶりの減少。方式別では、全ての方式で大幅減少し、特に<後期>(46)は半減以下の大幅減少。
- 現代社会(62)は、2017年度開設以降初めての減少で大幅減少。学科別では、(現代社会)(60)、(健康スポーツ社会)(64)はいずれも大幅減少。
- 国際関係(76)は、大幅減少で2019年度新設から2年連続の減少。
- 理(75)は、大幅減少で6年ぶりの減少。学科別では、3学科全てが大幅減少。(数理科学)(68)、(物理科学)(76)で前年度大幅増加の反動で大幅減少、(宇宙物理・気象)(81)は3年連続減少。
- 情報理工(84)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、<後期>(59)が2年連続大幅減少、<中期>(74)は大幅減少、<前期>(86)が減少。
- 生命科学(73)は、大幅減少で2019年度の学部改組後は2年連続減少。学科別では、(産業生命科学)(66)、(先端生命科学)(76)のいずれも大幅減少。